

講義名	旅館事業経営論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	碓井 将夫		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	53056

### 主題と概要

旅館事業経営論は、その事業経営における3分野について現状と課題及び今後の展開について講義する。その3分野とは、(1)旅館事業の成立要件を問う。事業経営論、(2)運営上の要件及びその課題、(3)旅館経営の中でも収益力の向上のための鍵となる課題として、料理・サービスの構成及び食材の管理がある。

日本の宿泊産業の一翼を担う旅館事業の発展の歴史は、ヒト、モノ、カネの移動にともなう東海道をはじめとする街道宿場町を起源とし、現在のリゾート、保養級地域、観光温泉地へと整備発展してきました。

業界の急速な成長、拡大は戦後の高度経済成長とともに企業の慰安旅行、学生の修学旅行などタイムリーな市場ニーズを捉えることにより成功した。しかし、生活様式の欧米化にともない、ホテル業との競合は、多くの都市旅館を市場から退場させたが、もちろん経営的に優れ、日本の伝統文化を継承する旅館は現在でも健在する。

自由経済の原則は、優勝劣敗です。市場環境に適応できる企業のみが存続を許される。そして、その存続と退場には、その理由が存在する。その課題、原因を分析し旅館事業のあるべき姿や、成長性、魅力を日本の伝統文化産業という視点からその強み弱みを含め検討する。

### 到達目標

旅館事業経営の基礎知識(歴史、用語、経営構造、商品等)、旅館ビジネスがおかれている経営環境、その現状と課題を解説し、将来の展望について述べることができる。

### 提出課題

授業中の短時間の「演習問題」に答えてもらう。

### 評価の基準

出席、授業中に実施する「演習問題」の提出と期末定期試験を総合して評価する。  
配分率：出席 30%、演習問題の提出 30%、期末試験 40%

### 履修にあたっての注意・助言他

資料をその都度配布予定。興味をもってよく読んで欲しい。

### 教科書

・ 使用しない。

### プリント資料及び参考文献

<参考文献>  
「レジャー白書」(財)余暇開発センター  
「ホテル旅館ハンドブック」(株)レジャー産業研究所  
「サービスマネジメント概論」学文社  
その都度提示予定

### 授業計画

- 01・・・序論  
講義のねらい、講義計画、旅館事業の概要説明
- 02・・・旅館事業史  
古代、中世、近代、現代の旅の目的の変化とともに宿泊業の発展の歴史を説明
- 03・・・旅館経営に関する基礎知識  
旅館経営の概要を説明
- 04・・・旅館事業の特性  
ホテル業との比較から旅館事業を説明
- 05・・・経営体としての特徴  
事業価値創出の二面性：宿泊・飲食提供産業と不動産業
- 06・・・運営管理：商品の開発及び管理(1)料理  
食材の調達・管理および調理
- 07・・・運営管理：商品の開発及び管理(2)サービス  
顧客満足と従業員満足：ピープルズビジネスとは
- 08・・・運営管理：商品の開発及び管理(3)施設  
商品としての装置の考え方
- 09・・・運営管理：営業及びマーケティング  
顧客分析と課題達成のための対策
- 10・・・運営管理：従業員の教育・訓練  
ピープルズビジネスという観点から教育・訓練の概要
- 11・・・FB管理：コスト管理  
コストについての見方・考え方
- 12・・・FB管理：食材管理  
重要商材の保管
- 13・・・FB管理：材料調達  
供給者との関係
- 14・・・FB管理：衛生管理  
食中毒についての考え方
- 15・・・まとめ

### 予習・復習

講義毎に、資料を配布します。マーカーや下線の指示をしますので、講義の復習の際に、マーカーや下線部分の読み返しをして下さい。

### 備考

講義中に、キーワードや専門用語が出てきますので、復習の際に書籍やインターネットでさらに調べそれらの周辺の学習も合わせてして下さい。なお、講義の際に毎回小テストを実施しますが、その際に、講義を通しての気づきや不明な点を、気づき欄に記載して下さい。次回の講義の際にコメントを加え講義を進行します。